

いっしょに  
育てていきたいから。

保護者、教員、そして生徒が紡ぐ一高の絆

Parents, Teachers and Students



公開授業

●4月27日に、公開授業・学校PTA総会・学年PTA総会・学級PTA・3学年保護者進路研修会が開催されました。



学年PTA総会



学級PTA



3学年保護者進路研修会

●5月31日、前期中間テストの最終日の午後、1学年保護者進路研修会が開催され、1学年の多くの保護者にご参加いただきました。



●6月20日の通学時間帯に、挨拶の励行や自転車の運転マナー向上を目指して、マナーアップ運動が行われました。昨年度同様、雨の中での活動となりましたが、さわやかな挨拶の時間となりました。



●一高祭3日目のバザーのために、ご家庭からの遊休品の提出にご協力いただきまして、ありがとうございました。おかげさまで、バザー当日には保護者や地域の方々にご来場いただき、大盛況となりました。



山梨県高P連 2018年度体制について

山梨県高等学校PTA連合会定期総会に参加して

PTA副会長 笠井 和人

去る5月18日山梨県立文学館講堂にて、県高P連定期総会が開催され、水村PTA会長、若月副会長、加藤教頭先生とともに参加させて頂きました。総会では昨年度の事業報告及び決算、本年度の事業計画と予算が承認されました。

県高P連会長には小澤浩氏(甲府昭和)が選任され、新体制がスタートしました。また7月6日から7日に開催される関東地区高P連栃木大会

の参加協力要請及び開催要項の説明がありました。

舞台上に目を移しますと、平成29年度の県高P連副会長であった大沢前会長に感謝状の贈呈があり、県高P連事務局長である本校の赤池前校長先生が議事の進行役として活躍されておりました。その姿を見て、一高の役割の重さを実感し、また身が引き締まる充実した総会であったことを報告させていただきます。

<http://www.first.kai.ed.jp/>

一高ホームページは、保護者向けのサイトも充実!!  
保護者向けに発行している便りは、学校ホームページでも閲覧できます。  
学校行事や生徒会活動、トピックスなどの情報が盛りだくさん!!  
ぜひご覧ください。一高の「今」を実感していただけます。

携帯電話からは、右のQRコードよりアクセス!!



甲府第一高等学校PTAだより We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL Vol.17

発行◎山梨県立甲府第一高等学校PTA  
〒400-0007 山梨県甲府市美咲2丁目13-44 tel.055-253-3525 fax.055-253-3527  
発行日◎平成30年7月23日  
編集◎山梨県立甲府第一高等学校総務広報係

甲府第一高等学校  
PTAだより

Parents, Teachers and Students.  
We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL.

Vol.17

KOFU FIRST High School  
PTA Profile Paper,  
We are KOFU 1st vol.17 July, 2018  
山梨県立甲府第一高等学校PTA

INFINITY 無限の限界へ向かって、一高生の力を出し切ろう!  
～無限の可能性～





PTA会長  
水村 勝

## Be Gentleman

早いもので娘が入学してもう最終学年となり、来年は卒業です。青春は矢の如し、しかしその光は人生の中で光り輝いています。一高の校是の中に Be ambitious がありますが、その陰に隠れてもう一つ Be Gentleman があります。私は今60歳を過ぎこの言葉の重みをしみじみ感じています。誰も見ていない時に、誰のためでもなく、当たり前のことをする・・・出来るようでとても難しいことです。一高生の誇りを自覚して常に自分を律し、そして他人をおもいやること。当時の大島正健校長は何を感じ取っていたのでしょうか。夢多き



校長  
堀井 昭

## 主体的・対話的で深い学び

近年の学校現場では、「主体的・対話的で深い学び」がキーワードとなり、グループ内で話し合いその成果を発表する、いわゆるAL（アクティブラーニング）型の授業が浸透しつつあります。先行きが不透明な未来を生き抜くための資質は、知識詰め込み型の教育では身につかないという認識が共有されてきたからです。ALの本質は、知識や技能を修得し、それをいかに活用するかということにあります。つまり普段の授業から、思考力・判断力・表現力を磨くべきなのです。

その点、学校行事がもたらす教育効果も見逃せません。先月開催された一高祭こそ、準備から本番まで、長期間に渡るひと

# We are KOFU FIRST HIGH SCHOOL.

若人の大いなる希望を肅々と整然たる道に導かんとする姿が見えてきます。自我を捨てるということは、まだ高校生には理解するには早すぎるかもしれません。しかし、いつかは一高生であった事を本当に良かったと思える日が来る事を願います。そしてそのような学校にしていくことが、PTAの役割ではないでしょうか。

保護者の皆様また先生方も、長い人生の中のたったの3年間を子供たちが光り輝き走っている姿を暖かく見守っていただけるよう、PTA活動にどうかご支援を賜りたく思います。

つのALであったといえます。仲間と協力し、創意工夫を凝らして活動している姿は極めて主体的・対話的であり、学園祭成功に向けて様々な困難を乗り越えようとする力を尽くすそのプロセスには、非常に深い学びがあったはずなのです。

保護者の皆様方には、一高祭を陰で支えて頂き、また日頃より本校の教育活動へご協力を賜り心から感謝いたします。10月には強行遠足も実施されます。一高祭同様、目的や意義をご理解頂き、子供たちの成長に繋がるようなご支援をお願いいたします。

## 「いくら軍艦」の完成を目指して

1学年主任 数野 浩司

一粒のいくら（生徒）が集まれば、無限の可能性を秘めた「いくら軍艦」のおすし（集団）になる、という常盤生徒会長の書いた文章が今でも印象に残っている。3年生の劇に、時を忘れ、尊敬の念も込めて見入っていた下級生。一丸となった2年生の圧巻のダンスパフォーマンスに、驚きを持って見つめていた上級生と下級生。一人一人の熱すぎる魂が声に出ていた1年生の合唱。全員がINFINITY一高祭の完成を目指したからこそ成し得たレベルの高さ。これこそが、困難があっても協力して粘り強く前へ進む力を身につけようとしている生徒一人一人の成果だと、「いくら軍艦」を夕食で作りながらしみじみと思った。

## 学園祭を通して

2学年主任 内藤 浩

学園祭を通して、協力することの大切さを感じましたか。友達の良い面をたくさん発見できましたか。あるいは、思った通りにならず、悔しい思いをしましたか。1年生の時にはできなかったことが、できるようになってきたと思います。目標に向かって頑張る姿を見せてくれてどうもありがとう。来年は最後の学園祭です。最高学年として、1年生と2年生を思いやりながら、全力で取り組む姿を是非また見せてください。



## 苦勞して楽しんだ最上級生

that's 一高生

3学年主任 藤原 剛

生徒会活動の引継ぎの際、「先輩たちの苦勞を知るだろう」と学年集会で予告した。多くの生徒がそれを実感しただろう。最上級生らしいクオリティーの高さを示そうと、自ら高くしたハードルも重圧になった。内輪で盛り上がるのが許された昨年は、無邪気に楽しめた。今年はブロックを団結させ、盛り上げ、質の高さを求め、高いハードルに挑むことで成長する姿に、楽しさを越えて感動した。強行遠足をはじめ伝統行事を通して成長する一高生の神髄を見た。さあ、集大成の野球応援!最上級生が先頭に立ち、一高生一体となって勝つと信じている。

6月21~23日

## 第71回 一高祭

21日（コラニー）  
保護者486名 来場  
23日（一般公開）2,565名 来校



生徒自治会会長 常盤 夏未

一高生の力は計り知れない、無限である。「INFINITY」というテーマに決まった時には、目指すべきが「無限」とはどういうことだ、と正直困惑した。しかし、今の私にはわかる。高校生は何でも出来るのだ。その「無限」の可能性を追い求め、第71回一高祭が完成した。

私は、そんなテーマを掲げる一高生が大好きだ。そして、全員であの3日間を作り上げた一高生が大好きだ。

一高祭実行委員長 笹本 正真

まず初めに、私は自分が実行委員長を務めるとは2年前は全く思っていなかった。ただ前任の先輩方が盛り上げているのを純粋に楽しんでいた。実際に自分がやってみると不安しかなかった。それと同時に、運営する側の見えない努力を知った。予定通りの運営をするために急な変更をすることが多くあった。それに柔軟に対応する生徒会を本当にすごいと思った。うまくできなかったかもしれない。ただ大切なことを知る貴重な経験をすることができた。

体育委員長 猪股 瀨名

生徒会を主体とし、体育委員は全員が体育祭の成功に向けて、全力で準備をしてきました。当日は用具の破損などのトラブルが起き、予定通りに競技を行えない部分があったものの、全校生徒のあたたかい協力により、無事に成功させることができました。ありがとうございました。

一高祭ブロック長代表 道田 樹

3年生は最後の一高祭ということで、3年生全体が最高の一高祭にしようと盛り上げ、努力を惜しまなかったはずである。一高祭の準備や当日の3日間を振り返ると、どのクラスも協力し助け合う姿があった。さらに、ブロック制導入で学年を越えた繋がりができ、より盛り上がり皆が楽しむことができたと思う。私は頼りないブロック長だったが、周りがよく助けてくれて、とても心強かった。最高の一高祭だった。ありがとう。

3年4組 理事 岩崎 梨紗

今回の一高祭では、様々な困難に直面した時でも周りに手を差し伸べてくれる仲間が多く、とても助けられました。クラス全員が体育祭やブロックでの応援、劇、クラス展示などいろんな形で一高祭に全力を出し、みんなの表情には大き

な感動と達成感に満ち溢れていました。多くの人と一高祭を共有することができた時間は、私にとってかけがえのないものになりました。

2年2組 理事 関根 広大

今年の一高祭で、自分は理事でありながらクラスに少しの貢献もできなかった。しかしクラスの一人一人が一高祭の前日まで頑張ってくれ、なんとか一高祭を迎えることができた。当日起きたいろいろなハプニングにも臨機応変に対応し、無事3日間を終えることができた。今回の一高祭で、2年2組の凄さに改めて気付いた。クラス全員の努力に感謝したい。

1年5組 理事 中野 朝陽

中学の時とは一味違った学園祭。皆で協力できた点もありましたが、トラブルが重なり団結するのに少々時間がかかりました。

一高祭当日に「失敗してもおもしろい」という言葉を、担任の高鳥先生がクラスにくれました。そのお陰で物事を前向きに考えることができました。結果はどうであれ、5組全体、1年全体、そして一高全体で高め合うことができた3日間。これは一高祭成功の証拠だと思います。楽しい一高祭を創り上げた皆に感謝したいです。



(1学年保護者)

2日参観しました。1日目。音楽関係ではリズム感のある演奏もメロディーやハーモニーの美しい演奏も等しく楽しむ生徒の皆さんの感受性の幅の広さに感動しました。ダンスも演劇も見ごたえがありました。終始舞台と客席が一体になっていました。3日目。最初から驚きました。朝、校門前に長蛇の列。各企画、展示、発表ともに大盛況。演劇部の発表は、絶望を深く、希望を力強く表して印象的でした。一高生の底力を感じた2日間でした。

(2学年保護者)

早いもので娘も高校2年生となりました。昨年も今年も周囲と協力し、時に葛藤し、楽しみながら一高祭に取り組んでいる様子うかがえ成長

のきっかけとなっているようです。1日目と3日目に活動を拝見しましたが、がんばっている姿に我ながら感動を覚えました。学園祭が一高の文化力の発信の場となるようさらなる飛躍を期待しております。

(3学年保護者)

「泣いちゃうかも。」娘は言った。内藤師の怪演。古河師の似顔絵に萌え。スタンプラリーの台紙は夢の国へのパスポート。景品ゲットの婦人が歓喜の足踏み。窓越しに身を乗り出す観衆の視線の先ではダンス部の華麗な舞。「ヤバイ」うまさの模擬店は完売。沖縄慰霊の日。非業の最期を遂げた若者の想いを一高生たちは受け継いだ。外は雨。泣いても雨が流れてくれる。

(3学年保護者)

一高祭初日の3年生の劇では、ストーリーに感心し、セリフや演技に大いに笑い、そして涙し、驚きもあり、とても感動しました。装飾、舞台転換も含めて本番に臨むまでそれぞれが努力し皆で協力して作り上げた、知恵と汗の結晶がよく表れていたと思います。これは土曜日に行われたクラス企画や文化部展示等でも思ったことです。工夫を凝らしたセットや展示はスマートで上品で、一高生らしさを感じました。

また、先生方の渾身のステージは生徒たちが最も盛り上がりが増す場面の一つで、生徒との一体感がより一層高まる瞬間だなと思いました。最後に、皆さんが頑張る姿にこちらも活力をもらいます。どうもありがとう。